

令和4年8月12日

各関係大学長  
各関係学部長 殿  
各関係機関長

国立大学法人琉球大学熱帯生物圏研究センター長

徳田 岳 (公印省略)

### 教員の公募について (依頼)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、国立大学法人琉球大学熱帯生物圏研究センターでは、下記の要領により教員を公募することとなりました。つきましては、ご多用中恐縮ですが、貴機関関係者への周知方についてご高配いただけますようお願い申し上げます。

謹白

### 記

1. 公募人員： 教授 1名
2. 所属：  
国立大学法人琉球大学 熱帯生物圏研究センター  
サンゴ礁生物科学部門 サンゴ礁生物生態分類学分野
3. 専門分野：  
サンゴ礁生物を対象とした生態学、分類学、保全生物学のいずれかの研究分野。
4. 担当科目及び職務内容：
  - 1) 琉球大学理工学研究科（修士課程・博士課程）の資格審査を経たうえで、当該分野の教育・研究指導を担当していただきます。
  - 2) 共通教育科目については「沖縄のサンゴ礁」を共同担当していただきます。
  - 3) 熱帯生物圏研究センターサンゴ礁生物科学部門サンゴ礁生物生態分類学分野では、瀬底研究施設の特性を活かしたフィールド研究を重視し、サンゴ礁生物の生態学、分類学、保全生物学の視点に立った研究を推進してきました。この活動を継続し、さらに活性化することが求められます。
  - 4) 琉球大学の学内研究センター及び文部科学大臣認定の共同利用・共同研究拠点としての熱帯生物圏研究センターの管理運営業務を担当していただきます。
  - 5) 勤務地となる瀬底研究施設の管理運営業務を担当していただきます。
  - 6) 本学在職中は、日本学術振興会または文部科学省の科学研究費助成事業に代表

者として応募することが求められます。

5. 応募資格：

- 1) 博士の学位を有する者。
- 2) 学部卒業後10年以上の研究・教育歴を有する者。
- 3) サンゴ礁生物を対象として、生態学、分類学、保全生物学のいずれかの視点に立ち、フィールドを重視した研究を熱意を持って推進する者。
- 4) 上記の専門分野で先端的な研究を推進するために必要な研究業績と実績を有する者。

6. 勤務地：

沖縄県国頭郡本部町瀬底3422番地  
国立大学法人琉球大学 熱帯生物圏研究センター  
瀬底研究施設

7. 採用予定年月日：

令和 5年 4月 1日以降のできるだけ早い時期

8. 提出書類（本要項に添付された様式を必ず使用すること）：

- 1) 履歴書
- 2) 研究業績目録：1. 原著論文、2. 総説、3. 著書、4. その他（査読なしの論文、評論など）、5. 学会発表に分け、新しいものから順に記載すること。なお、1. 査読付き原著論文については、Web of Scienceのインパクト・ファクター（2 year）を末尾に付記すること。インパクト・ファクターの検索はWeb of Science以外にもSCI Journal (<https://www.scijournal.org/>) などでも可能です。それに加えて、代表的な論文（10編以内）については、Google Scholar (<https://scholar.google.com/>) で被引用回数も調べて付記すること。学会発表については、以下の点に留意してください。①応募者自身が演者として発表したもののみを記入し、単に共同演者であったものは記入しない。②国際学会、国内学会に区分して、特別講演、シンポジウム・パネルディスカッション、ワークショップ・ラウンドテーブルのそれぞれについて記入。③一般講演（ポスター発表を含む）は国際学会についてのみ記入し、国内学会（地方会、研究会含む）での一般講演は記入しない。
- 3) 研究業績一覧表
- 4) 代表的な論文（PDFを提出したもの）の要旨（1編 400字以内）
- 5) これまでの研究の概要（2,000字以内）
- 6) 今後の研究に対する抱負と展望（2,000字以内）
- 7) これまでの教育実績と今後の大学院教育に対する抱負（2,000字以内）
- 8) 科学研究費助成事業等研究助成金の採択状況：助成金の名称、研究題目、代表・分担の別、助成期間、助成金額（代表の場合は研究全体の直接経費総額。分担の場合は分担者としての直接経費配分額。2016年度以前は期間全体、2017年度を期間に含む助成以降は年度毎に受けた研究費の直接経費の額）を明記してください。
- 9) 特許の出願状況（発明の名称、発明者氏名を記載）
- 10) 学会活動をはじめとする社会活動：所属学会（役職）、各種委員会、学会や各種シンポジウムの企画・世話役、研究機関で実施した公式なセミナー、その他の社会活動等の実績を記載してください。
- 11) 照会先となる方 2名の氏名、所属、住所、電子メールアドレス

12) 代表的な論文10編以内のPDF（研究業績目録中の論文の番号に○印を付す）

9. 備考：

- 1) 提出書類は日本語または英語とします。
- 2) 外国人研究者の場合、国籍は問いませんが、日本語での会議及び事務処理がある程度可能であることを条件とします。
- 3) 選考の過程で候補者に面接や講演、プレゼンテーションをしていただく場合があります。その際に旅費が発生する場合は自己負担とします。
- 4) 琉球大学は、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、選考過程で研究、教育管理運営等、職務遂行に必要とされる能力が同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。詳細は琉球大学ジェンダー協働推進室 (<http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/>) を参照してください。
- 5) 出産・育児・介護等に従事した期間について考慮することを希望される場合は、履歴書の備考欄に付記願います。
- 6) 提出書類に重大な虚偽があった場合や、採用時まで必要となる学位、資格等が取得できなかった場合は、採用を取り消す場合があります。
- 7) 琉球大学では、敷地内を全面禁煙としています。

10. 雇用形態：常勤（1日 7時間45分、週 5日勤務）、任期なし（琉球大学教員の定年は満65歳）

11. 給与：年俸制Ⅱ。国立大学法人琉球大学職員給与規程及び、国立大学法人琉球大学年俸制（Ⅱ）適用教員給与規程に基づき、経歴によって算定します。

12. 諸手当：通勤手当・住居手当等（国立大学法人琉球大学職員給与規程による）

13. 休日：日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12月29日～1月3日）、その他特に指定する日

14. 福利厚生：文部科学省共済組合に加入

15. 応募方法：提出書類を一つに統合したpdfファイルとし、JREC-IN Portal Webより応募ください。※JREC-IN Portal Web 応募を利用した応募ができない場合や応募書類が 20MB を超える場合は、琉球大学人事企画課任用係 ([jnninyo@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:jnninyo@acs.u-ryukyu.ac.jp)) までご連絡ください。

16. 問い合わせ先：

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1番地  
国立大学法人琉球大学 総合企画戦略部 研究推進課  
共同利用施設係長： 宮里淳子  
電話： 098-895-8036 電子メール： knkuodor@acs.u-ryukyu.ac.jp

17. 応募書類提出期限： 令和 4年10月17日（月） 午後5時必着

18. 熱帯生物圏研究センターについて：

熱帯生物圏研究センターは1994年に琉球大学に附置された全国共同利用施設で、熱帯・亜熱帯の生物圏における様々な生命現象や生物と人間との関わりについて、国

内外の研究者と連携しつつ、地の利を生かした研究を展開することで、国際的な研究・教育の拠点作りを進めています。2009年 4月には、西原研究施設、瀬底研究施設、西表研究施設を擁する旧・熱帯生物圏研究センターと学内共同教育研究施設であった旧・分子生命 科学研究センターが統合を果たし、新・熱帯生物圏研究センターとなり、文部科学大臣に共同利用・共同研究拠点として認定されました。引き続き、国内外の研究者との共同研究を推進し、全国の共同研究拠点として更なる発展をめざしています。

以上